

# 橘北地区まちづくり通信

はじめに令和6年元日の能登半島地震における被災者へのお見舞いと犠牲者の方へ心からお悔やみを申し上げたいと思います。

まちづくり委員会は10年目を迎えました。令和5年度も昨年に続き、課題の可視化とデジタルの活用、コミュニティの円滑な活動等にチャレンジしてきました。地区内の少子高齢化や過去3年に亘るコロナ禍の自粛活動による空白等はまちづくりの運営に大きな影を落としています。地区内の人の繋がりは、まちづくりの原動力となります。地域の人との風通しの良さは、災害への備えと地域の活力となります。まちづくりへの皆様のご理解とご協力をお願いします。

**人の繋がりで地域を元気にしよう**



発行：橘北地区まちづくり委員会  
 広報・しもなか通信分科会  
 発行責任者：委員長 諏訪部一美

## 防災・減災（救護・応急手当）分科会

令和5年度も各地で大規模な地震災害と異常気象が頻発しています。橘北地区は、南関東で南房総と同様に地盤の隆起量が大きいエリアという事実をご存じですか。関東大震災から100年を迎えて皆さんの危機感は如何なるものでしょうか。分科会の活動は、自治会連合会の災害対応、広域避難所の運営、自主防災の支援、防災・減災、救護・応急手当等の活動を支援しています。

- 小田原市いっせい総合防災訓練：10月22日に会員と役員を含め219名の方が防災訓練に参加されました。①給水車による給水体験、②消防団の消火訓練、③広域避難所運営と防災意識調査結果のポスター掲示とアンケート調査、④資機材組立（段ボールベッド、仮設トイレ、炊き出し器）。アンケート結果は皆さんに提供します。いざという時の備えについて考え直してみませんか
- 広域避難所と自主防災について：広域避難所の開設と運営についてのマニュアル化を進めています。能登半島地震で広域避難所の話題が連日報道されています。自治会の避難計画に向きあってください。
- 普通救命講習：1月27日に12名の方が参加してAEDを利用する講習を実施しました。
- 防災授業の支援：下中小学校4年生の授業に参加して、広域避難所の運用と防災機材の説明のお手伝いをすることができました。（科長 諏訪部一美）



消防団の消火訓練



ポスター掲示とアンケート調査



防災授業の支援

## 防犯分科会

防犯抑止力の強化を目的に、地区内6ヶ所の防犯カメラ設置に向けた検討と実証試験を令和4年度から取り組んでいます。防犯と交通の問題は、地区の安心・安全と密接に関連しています。子供の見守り、交通安全、家の周りの美化清掃等は、皆さんの目が大きな抑止力となり、地区内の被害軽減に役立っています。（科長 諏訪部一美）



## 広報・しもなか通信分科会

- 38～43号発行
- 44号（4、5月版）編集中
- まちづくり通信11号の編集
- 「たちきた3150広場」開設  
（若者言葉でサイコー広場）高校生

や子供さんからの投稿を掲載するコーナーです。  
QRコードを読み込むと、インスタグラムで過去の記事を閲覧できます。（科長 高橋退仁）



@TACHIKITA\_OFFICIAL



## 福祉健康分科会

●誰もが健やかにこの地域で暮らす為に役立つイベント及び、みんなの交流と憩いの場「ふらっとしもなか」を企画しています。7月開催の福祉体験講座の「手話体験コーナー」を設けて、「とても良かった」「もっと知りたい」との感想を多く頂きました。次年度に繋げていきたいと思えます。



11月に開催した「介護保険制度関連の講座」では67名の参加がありました。年代別では60代・70代の方が7割を占めていました。また参加者の8割が女性でした。



参加者の声からこの地域の高齢化の実態と将来に備えての皆さんの強い思いを改めて知らされました。今後とも地域の皆さんにとって喜んでもらえて、役に立つ活動を企画していきます。（科長 野口良博）

## 公共交通分科会

橋北地区の交通手段の問題について取り組んでいます。橋団地周辺での京セラの交通実証試験がEV車輛の環境配慮で中止されました。地区内で医療機関の不在、バスの減便、65歳以上が約4割の高齢化で生活交通の移動手段の確保が課題となっています。75歳以上の後期高齢者を対象に、タクシー・バス共通の補助で「おだ千ヶ」の実証試験が開始されています。利用者のご意見が今後の支援に反映されます。（科長 諏訪部一美）

## 地域団体連絡会関連

### ●連絡会の再開

まちづくり委員会の団体関係者、地区役員代表、分科会の科長さんと地域の問題を出し合う連絡会を開催しました。高齢化の問題、後継の問題、地域固有の問題、まちづくりの地域での役割と様々な意見が交わされ、これからの地域活動の原動力に役立たいと考えています。

## 文化・教育分科会

●令和5年度の活動は、10月の「草木染め体験」、1月の「たこ揚げ」、そして3月の「ダンス教室」を軸に進めてまいりました。

10月22日に開催された「みんなde染めよう！しもなかたまねぎで草木染め」では、昨年度の反省を活かし、皆がくっきりと綺麗に染めることができました。また、待ち時間を利用して行った縄跳びとシャボン玉も大盛況でした。



続いて、1月28日(日)に開催された「みんなdeたこあげ!」。昨年度を上回る70名を超える参加者、保護者の方が来場。空高く舞い上がった凧に喜んでいる子どもたちの姿が眩しいくらいイベントとなりました。



そして3月3日(日)は、「ヒップホップdeダンス、ダンス、ダンス!」を開催。昨年度に続き、下中小出身のダンサー内田萌子さんに来ていただき、17名の参加者は懸命に振り付けを覚えながら元気いっぱいに踊っていました。見守るべきこちらが踊りたくなってしまいう程の楽しい雰囲気でのイベントでした。



登下校時の見守りでは、見守り隊の皆様が精力的に地道な活動を続けていただいております。今後はさらに児童の安全を見守るボランティアの方々の層を厚くすることができればと願っております。

ご興味をもたれた方がおられましたら、お気軽に文化・教育分科会までご連絡いただければと思います!

(科長 脇純一)



## 地域と学校の活動について

今年度は、学校でまちづくりのお話する機会が巡ってきました。地域のことを一緒に考えてくれる頼もしい友と巡り合うことができました。

- 下中小学校での4年生防災授業のお手伝い：下中小学校4年生の広域避難所と防災機材について授業に参加しました。12月1日の授業参観日には防災備蓄庫の探検を、12月11日には、児童との質疑応答と防災備蓄庫内の機材を見学しました。子供の問題意識と避難所での子供の役割等の質問に防災意識の高さと自主性に感激しました。子供の眼差しが印象に残りました。児童全員から感謝のお手紙をいただき地域の皆さんと情報を共有したいと思います。詳細は、下中小学校のホームページに掲載されています。

### 防災の授業



- 下中座を知っていますか？地域の宝を知って広めようプロジェクト：2月1日に下中小学校の4年生による地域伝統芸術である下中座の説明と、こども達が考えた劇の発表会がありました。未来の後継者の活躍が楽しみです。
- 橘中学校で地域学習のお手伝い：1月29日に地区内の環境美化とまちづくりの取組について、未来の担い手となる生徒と一緒に話をすることができました。地域の良さを大切に新たなチャレンジに願いを込めて。

4年 学年だよ



### 下中座の発表会



橘北地区まちづくり委員会では、  
今後も、地域の課題解決に向け取り組みを進めています。